

第2次はんのうふくしの森プラン実施計画  
実績報告書及び計画確認書

知	これから取り組むこと（大目標）		協働の取組	関係する係	関係する係における取組	取組実績	関係する係における取組						
	これから取り組むこと（小目標）						平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
1 お互いを知りあう・分かれ合う機会をつくらう	1. あいさつからコミュニティづくりをはじめよう												
	(1) 気軽に“あいさつ”が交わされるまちをつくらう	①	交流の場において、あいさつの大切さを伝えます。	全係	・各係で実施する事業の場や本会運営の施設利用者に対し、あいさつの大切さを伝え職員も積極的なあいさつを心掛けます。	・施設利用者及び各種事業参加者に対して、あいさつの大切さを伝えるとともに、職員も積極的なあいさつを心掛けた。		継続					
		②	あいさつ運動を周知するイベントの開催や周知に努めます。	全係	・あいさつ運動周知のイベントを新規に実施するか、既存のイベントと同時開催できないか検討します。	・取組みなし	検討	イベントを実施します。	継続				
		③	あいさつ運動に参加してくれる人や団体を募ります（バッジ等の配布を検討）。	地域福祉推進係				・あいさつ運動周知の新規イベント若しくは既存のイベントと同時開催する際、バッジ等の配布について検討します。	実施				
	2. “ふくし”を身近なものとして考える機会をつくらう												
	(1) 交流を通して“ふくし”を学ぼう	①	市民や地域の様々な団体と学校との交流を支援します。	地域福祉推進係	・地域福祉推進組織と学校との交流ができるよう連絡調整を図ります。	・CSWが原市場地区社会福祉協議会、なぐり広場において福祉教育の一環とした交流会の連絡調整を行った。その他、各地区で実施されているサロン活動と小学生との交流の調整を行った。		継続					
		②	学校型福祉教育プログラムを提供します。	地域福祉推進係	・学校型福祉教育プログラムの研究を行います。	・書籍（県社協発行）の購読や先駆的取組のある市町村社協から情報収集を行った。	作成	提供	継続				
		③	社会福祉協議会が開催する講演会、講座などへの参加を呼びかけます。	全係	・市民活動を行っている場に出向き掲載情報の収集に努め、本会が発行する各種広報紙やホームページ・地元紙・ケーブルテレビ・広報はんのうなどの利用や、各種事業実施の際や本会が運営している施設利用者にも積極的に周知を行います。	・CSWが各地区での行事や地域福祉推進組織が主催する事業に出向き周知を行った。 ・施設掲示ポスターやチラシ配布の他、各種広報紙・ホームページ・地元紙・ケーブルテレビ・広報はんのうなどを利用し周知を行った。 ・市へのツイッター・ICタグによる申込受付などによって参加の呼び掛けを行った。		継続					
		④	市民が講演会、講座などで修得した知識や技術を活かせる機会を提供します。	地域福祉推進係 生活支援係	・特技や技能を持っている市民を登録して、必要に応じて派遣できる制度等について検討を行います。	・傾聴ボランティア養成講座修了者の内、継続的した活動を希望する方々に対して、ボランティアグループ「傾聴ボランティア・ピア飯能」の立ち上げ及び活動支援を行った。 ・災害ボランティアセンター立ち上げ及び運営訓練参加者に対して、災害発生時に、災害ボランティアセンター立ち上げ及び運営に協力していただくよう「災害ボランティア登録制度」を新設し、18名に登録していただいた。 ・市民後見人養成講座修了者の内、後見支援員として活動を希望する者を飯能市で管理する名簿に登録、その内5名を臨時職員の後見支援員兼生活支援員として採用した。	検討	検討結果をもとに制度設計を行います。	設置・運用	継続			
		(2) 人々がふれ合う機会をつくらう	①	地域や地域福祉推進組織、各種団体が開催するイベントや行事（まつり等）などを支援します。	地域福祉推進係	・必要に応じた補助金交付や、物品貸出の他、技術的支援及び情報提供等を行います。	・各地区地域福祉推進組織に対してふくしの地域づくり事業補助金要綱に基づいた補助金交付や、CSWが地域福祉推進組織の主催する事業の企画段階から支援を行った。		継続				
			②	遊休農地を活用し、土にふれあひながら交流できる場づくりを支援します。	地域福祉推進係				検討	実施			
		(3) 地域や団体の情報を発信しよう	①	地域や団体の情報を収集し、「社協だより うれしいいきいき情報」、ホームページなどに掲載します。	全係	・情報収集の方法について、検討します。	・情報収集については、CSWが各種事業に向くことで実施したが、情報収集の仕組みについては具体的な検討には至らなかった。	検討	周知開始				
			②	地域や団体の情報発信を支援します。	全係	・「社協だより うれしいいきいき情報」、ホームページ、ボランティア情報紙JOYJOY、拠点広報紙などに記事を掲載します。	・各種広報紙及びホームページに記事を掲載するほか、なぐり広場ホームページを社協ホームページにリンクさせた。		継続				
	3. ふくし懇談会を開こう												
	(1) 人々が知り合い、交流するふくし懇談会を開こう	①	地域住民や社会福祉事業所などとの連携により、地区別ふくし懇談会、社会福祉事業所、ボランティア団体、NPO法人との懇談会を開催します。	地域福祉推進係	・3地区（地域福祉推進組織未設置地区）で地区別ふくし懇談会を開催します。 ・社会福祉事業所、ボランティア団体、NPO法人の懇談会の実施方法について検討します。	・精明地区において、精明地区地域福祉推進組織設立準備会の主催で実施された自治会連合会精明支部を対象とした「ふくし懇談会」について、開催支援を行った。 ・ボランティア交流会については、2回開催することができたが、他団体との懇談会までは至らなかった。	検討・実施	継続					
		②	市民にとって魅力的な懇談会となるよう、職員がファシリテーション技術を学びます。	全係	・外部研修への参加及び内部研修を実施し職員のスキルアップに努めます。その他、職員研修についても各係と協議し実施します。	・傾聴技法習得のため、埼玉県社協主催の「傾聴技法基礎研修」に5名の職員が参加した。 ・ボランティア交流会において、ボランティアセンター運営委員がファシリテーターとして、グループワークの進行を担った。		継続					
		③	市民にファシリテーション技術を学ぶ機会を提供します。	地域福祉推進係					検討	実施			

第2次はんのうふくしの森プラン実施計画  
実績報告書及び計画確認書

知	これから取り組むこと（大目標）	協働の取組	関係する係	関係する係における取組	取組実績	関係する係における取組			
	これから取り組むこと（小目標）			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	(1) 効果的な広聴・広報をしよう	① CSWが地域住民の声を直接聴き、地域の生活課題を把握します。	地域福祉推進係	・地区の活動に向く他、関係機関と連携して把握します。	・CSWが地域福祉推進組織の活動に向き、参加者の声を直接聴くほか、地域で行われている関係機関との地域ケア会議などにも参加し課題の把握につとめた。	継続			
		② 市が収集した市民の意見や提案のうち、地域福祉に関連するものについて把握するとともに、積極的に対応します。	地域福祉推進係 生活支援係	・地域福祉推進プロジェクトチームにて情報提供を受けて対応します。	・地域福祉推進組織や各種市民活動団体から出された意見について、プロジェクトチームにて検討し関係部署と連携して対応した。	継続			
		③ 地域の生活課題を解決するための情報提供に努めます。	全係	・地区の活動に向く他、関係機関と連携して把握するとともに「社協だよりくらしいきいき情報、ホームページ、ポランディア情報紙JOYJOY、拠点広報紙、広報はんのう」などで情報提供を行います。	・CSWが地区内の行事や地域福祉推進組織が主催する事業に関係機関と一緒に向き生活課題の実態を把握した。また必要に応じて名栗事務所、ふくしの森ステーションかし、ふくしの森ステーションあがのにおいて記事を掲載し情報提供を実施した。	継続			